

アイ・あいだより



9月号

長い夏休みが終わりましたね。夏休み中との生活リズムの違いから体調を崩したり、夏休みの疲れが溜まっていたりはいませんか？

2学期も元気に過ごせるよう、規則正しい生活を心がけ、体調を整えていきましょう！



サマースクール



7月26日(水)にサマースクールを実施しました！

今年の参加者は、保護者の皆さんも含めて38人でした。プールで浮き輪やボートに乗ったり、たくさんのボールで遊んだり、みんな楽しく元気に過ごせました！保護者の方々から、先生がマンツーマンでついてくれるので安心して保護者同士の交流ができるとか、開放的な学校のプールでこどもたちにいい経験ができたというような声が聞かれました。

ぜひウインタースクールにもご参加ください！



2学期の行事

- 9/26 保健師学校見学交流会
- 10/21 第2回 授業公開・学校説明会
- 11/3 文化祭
- 11/9 高等部体験入学
- 12/8 第2回 保護者交流会
- 12/26 ウィンタースクール

詳しい内容等については、HPをご覧ください→URL : <http://www.hyogo-c.ed.jp/~kenritsu-svn/>

「歩行」小百科

(歩行訓練士より)

今月は、「感覚・知覚」についてです。視覚以外の感覚を上手に使うことで、保有している視覚の補いにしたり、視覚の代わりにの情報源とすることができます。

1 聴覚

様々な音はとても大きな情報源となります。視覚に障害があるから自然に聴覚が発達するということではありません。逆に大きな音等に過敏に反応してしまうこともあると思いますが、まずは、音を「聞く」「聴く(=耳を傾けて、注意して聞き取る)」ことを日頃から大切にしたいですね。

- 周囲の音を区別でき、それが何かわかる。(自動車等の走行音、自販機、水の流れ等)
- 白杖が当たった時の音で、それが何かわかる。(電柱、標識柱、自転車、街路樹等)
- 自動車が走行しているのか、停車しているのか、また進行方向やその距離がわかる。

音そのものではないですが、音の聞こえ方の変化も大きな情報になります。

- 屋根の出現で、屋外から屋内に入ったことや、屋内から屋外へ出たことがわかる。
 - 横にあった建物や壁の切れ目から、空間の広がりや曲がり角等の現れがわかる。
 - 壁などで音が遮られた、遮られていることがわかる。
 - 顔の高さに現れた物がわかる。
 - たくさんの話し声の中から、聴きたい相手の声を選択して聴くことができる。
- というようなことも身につけていくと、とても生活しやすくなっていきます。



2 皮膚感覚(触覚)

手や足等で「触る」ということも大切な情報源となります。

- 手で、木、金属、プラスチック、樹木、石、タイル等の区別ができ、大きさや堅さ等がわかる。
- 足(靴)で、アスファルト、土、芝生、マンホール等の違いがわかる。
- 白杖で、道路の材質、点字ブロック、マンホール、壁・障害物の材質等がわかる。

感覚が過敏で触ることが難しい場合は、興味を持つようなものから、無理なく触らせていきましょう。



3 運動感覚

自分の身体の様々な変化からも情報を得ることができます。

- 坂道での上り下りや、道路の端への傾斜がわかる。
- 歩いた距離がだいたいわかる。
- 白杖を持った手首から、溝、段差、階段等の出現がわかる。
- 手引きを受けている時、段差や階段、歩いている方向やだいたいの距離がわかる。

そのほかにも、嗅覚、味覚も養っていききたい感覚です。

今回話題にした「感覚・知覚」は日頃から意識していくことでどんどん伸びていきます。こどもたちの実体験を大切に、タイミングよく教えていきましょう。

次回は「運動」についてです。